

取手・利根選挙区予定候補発表

25 日、茨城県庁において日本共産党茨城県委員会は今年 12 月に行われる県議会議員選挙で取手市・利根町選挙区に上野たかし氏を候補者に擁立することを発表しました。上野たかし予定候補は取手市上高井に在住し、現在、日本共産党茨城県青年学生部長です。記者会見には、田谷武夫県委員長、竹内哲郎副委員長、高木晶取手市委員長が同席しました。



日本共産党公認

上野たかし 49 歳

党茨城県青年学生部長



3 月 25 日、茨城県庁で記者会見

【主な経歴】

- 1964 年 9 月 24 日生まれ（49 歳）
- 現住所 取手市上高井 434-3
- 出身地 千葉県柏市
- 略歴 1988 年 3 月 日本大学経済学部二部卒業
1988 年 4 月 茨城県取手とねっこ共同保育所職員
2006 年 2 月 日本共産党茨城県青年学生部長、南部地区委員長
- 家族 妻、一男一女

上野たかし予定候補が記者会見で述べた あいさつ・公約の概要を紹介します。

県政へ初めて挑戦します。1996 年から 4 度にわたって衆議院・茨城 3 区から国政に挑戦してきました。当時は「戦後 50 年」の頃で、平和、教育、社会保障などが大きく問われる時代でした。

大学を卒業後、最初に就職したのが無認可共同保育所で、障がいをもった子どもも多く通う保育所でした。「誰もが分け隔てなく、毎日を明るく楽しく暮らせる社会の実現」が私の原点です。とりわけ「3.11」後、何度も震災ボランティアに出かけ、「幸せ」ということをいつも意識するようになりました。何気ない家族の会話、悩みを相談できる友人関係、安心して暮らせる、子育てできるまち、日本社会…。「政治の役割の大きさ」を感じる毎日です。

約 20 年間、日本共産党の茨城県南部地区委員会で働いてまいりました。特に最近の安倍政権の「暴走」に、憤りを感じます。集团的自衛権行使への動きや憲法が保障する生存権を脅かす動き、原発再稼働などなど、「何を考えているのか」と思います。

安心して暮らせる茨城県へと変えましょう。若ものが未来に希望が持てる、生き生き働ける茨城へ、県民の声を県議会にまっすぐに届ける県議をめざし、全力でがんばる決意です。ご支援をどうぞよろしくお願いします。

公約などは裏面を参照ください。

小池あきら が語る！

参議院議員

日本共産党演説会



4月20日(日)午後2時

県民文化センター

茨城県水戸市千波町東久保 697

主催：日本共産党茨城県委員会
水戸市元吉田町2-3 TEL.029(247)6523

上野予定候補も挨拶します。

取手から
貸し切りバスを用意します。
お問い合わせは
取手市委員会に
72-7816

明るい取手

発行：日本共産党取手市委員会
取手市井野3-19-6 TEL：72-7816 FAX：72-7817

◆日本共産党の見解を紹介します。

2014 年 3 月 26 日

◆E-mail / jcp.toride@blue.ocn.ne.jp ◆HP / <http://toride.jcpweb.net>

ご購入ください

しんぶん 赤旗

日刊 ●月 3,400 円
日曜版 ●月 800 円

上野たかしの公約

- 消費税増税の中止、ＴＰＰからの撤退、集団的自衛権行使の中止を国に求めます。
- 3.11 原発事故により、取手市内は、全県で最も放射線量が高いホットスポットとされました。若い世代の健康被害へ不安が広がっています。除染の徹底、子どもの健康調査の実施、東海第２原発の再稼働中止、取手から原発ゼロを発信します。
- 最低賃金の引き上げ、高校卒業までの医療費無料化、国保税、介護保険料、水道料金の引き下げを求めます。
- 特別支援学校の普通教室不足が深刻です。県南地区に特別支援学校の建設、障害者学級の増設、障がい者向け施設の充実を求めます。
- 取手の街づくりと住環境、経済活動にも悪影響を与えている公営ギャンブル競輪場は廃止し、文化・スポーツ施設等への転用を求めます。
- 中心市街地をはじめ、商店の閉店・撤退が続き高齢化する市民の買い物環境の悪化、地域経済の衰退が続いています。地域経済の再生へ空き店舗・空きビル支援制度の拡充・創設を求めます。
- 人口急増期に建設した学校始め各種公共施設の老朽化が進む中、児童・生徒の減少を理由に小中学校の統廃合がすすめられました。しかしながら統廃合によって学校が遠くなり、通学路の危険性が拡大しているにもかかわらず、進みません。県としての通学路の安全・整備の施策、公共施設の耐震化・老朽化対策促進施策を求めます。

県議選 取手選挙区 (取手市、利根町) の 候補者発表について

2014.3.25

日本共産党茨城県委員会

日本共産党茨城県委員会は昨年 10 月 30 日衆院茨城 1 区候補に大内久美子さん、今年 12 月に行われる茨城県議選水戸市選挙区に現水戸市議の江尻加那さん、筑西市選挙区に現職の鈴木聡さん、つくば市選挙区に前県議の山中たい子さんをたててたかうことを発表しました。その際「さらに取手市選挙区での議席回復、いくつかの選挙区で議席に挑戦し、議席の倍化—4 議席以上をめざします」と述べました。今日は、第 2 次として取手市選挙区（定数 3）の候補者を発表します。上野高志さん、党茨城県南部地区委員長、49 才です。経歴は別紙のとおりです。

（１）茨城県議選は、全国いっせいで地方選挙の前哨戦として全国が注目する選挙です。安倍内閣は 4 月から消費税を 8 % に増税しようとしています。3 月県議会では、県公共料金を 8 % に増税する条例案を日本共産党以外の議員の賛成で可決

しました。原発を巡っても、安倍内閣は、再稼働を推進しようとしています。ＴＰＰへの参加は、日本と茨城の農業に壊滅的打撃をあたえます。さらに安倍内閣は集団的自衛権を行使し日本を戦争する国に変えようとしています。

日本共産党は、安倍内閣の暴走と対決し、平和とくらしを守るため奮闘します。消費税増税は中止し、大企業や富裕層に自分の負担をもとめ、大幅賃上げで国民、県民のふところをあたため、経済も社会保障もたて直すため力をつくします。

今度県議選は、安倍内閣の暴走にストップをかけ、平和と暮らしを守る選挙です。茨城県議選で日本共産党を大きく伸ばしてください。

（２）働く県民の所得は、10 年前に比べ約 9 割に減っています。茨城県の財政力は全国 8 位なのに、医師と病院数、障害者、老人福祉予算、小中学校の耐震化率は、全国最下位クラスです。開発優先で工業団地が売れ残り借金の山を作り、その返済のため、また福祉やくらしを削っています。4 月から高校授業料無償化廃止に関連する条例を、日本共産党以外の議員の賛成で可決しました。生活用水も工業用水も余っているのに八ッ場ダムや霞ヶ浦導水事業に税金がつぎ込まれています。

日本共産党は県民のみなさんと力を合わせ、子どもの医療費無料化、小中学校の少人数学級の実現を要求し、一步一步前進してきました。特別支援学校の新增設、県西地区の医療体制の充実など、福祉、教育、医療の充実に力を尽くしてきました。安定した雇用と賃金引き上げの為、県や労働局に働き掛けてきました。最低賃金の引き上げ、高校卒業までに医療費無料化、国保税、介護保険料、水道料金の引き下げを求め奮闘します。東海第 2 原発の廃炉を願う署名は、約 30 万筆を越え、過半数の市町村議会で廃炉、再稼働中止の意見書を可決しています。日本共産党は、東海第 2 原発の再稼働をやめさせ原発即時ゼロ、子どもの健康調査の実施を求めます。

日本共産党は県議会改革に取り組み、一般質問の人数制限の撤廃を求めてきました。毎議会で討論を行い、県民にとって悪い議案に対しては、問題点を明らかにしてきました。政務調査費について 1 円から領収書の添付を求め実現しました。県議選の選挙区については、1 人区を減らし、1 票の格差を是正する提案を行ってきました。県民の声が生きる議会をつくるため奮闘します。みなさんのご支援、ご協力をお願いします。